

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名	フマキラーキッチン用アルコール除菌スプレー
会社名	フマキラー株式会社
所在地	広島県廿日市市梅原1-11-13
担当部門	品質保証室
電話番号	0829-55-3438
FAX番号	0829-55-2432

## 2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	キッチン用アルコール製剤

成分	含有量	別名	化学式
発酵アルコール	40～50%	エタノール	C <sub>2</sub> H <sub>5</sub> OH
グレープフルーツ種子エキス	1%未満	-	-
緑茶抽出物	0.1%未満	-	-
pH調整剤①	1%未満	-	-
pH調整剤②	1%未満	-	-
水	50～60%	-	H <sub>2</sub> O

成分	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.	化学物質管理促進法 指定化学物質	労働安全衛生法57条の2第1 項通知対象物
発酵アルコール	化審法2-202	64-17-5	対象外	政令番号第61号
グレープフルーツ種子エキス	対象外	対象外	対象外	対象外
緑茶抽出物	対象外	対象外	対象外	対象外
pH調整剤①	非公開	非公開	対象外	対象外
pH調整剤②	非公開	非公開	対象外	対象外
水	対象外	対象外	対象外	対象外

危険有害成分 発酵アルコール

## 3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性 健康への有害性	有害性は極めて低い。 目、粘膜を刺激する可能性がある。
環境影響 物理的及び化学的危険性 分類の名称(日本方式)	有害性は極めて低い。 可燃性がある。熱、火花及び火炎で引火することがある。 引火性液体

#### 4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気のある場所に移動させ、必要に応じて医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに多量の水及び石鹼で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受ける。
目に入った場合	直ちに清浄な水で洗顔を、必要に応じて医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに水でよく口の中を洗浄し、必要に応じて医師の診断を受ける。
医師に対する特別注意事項	エタノールを含有する。

#### 5. 火災時の措置

一般的な措置として、速やかに必要な個所に連絡し応援を求める。	
消火剤	水、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、粉末、乾燥砂
火災時の特有危険有害性	燃焼により有毒なガスが発生する恐れがある為、吸入しないように注意する。
特定の消火方法	消火作業は可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	適切な保護具を着用する。

#### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	特になし。
除去方法	吸着剤(おがくず、土砂、ウエス等)で吸着させ、取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを取り除く。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策 (大量の取扱いの場合)	適用される法の基準に従った取扱いを行うこと。 火気、火花若しくは高温体との接近、過熱を避けること。 容器(ダンボール箱)を転倒させ、落下させ、衝撃を加えるなどの乱暴な取扱いをしないこと。
技術的対策 (製品の使用方法)	製品の使用方法を読み、充分理解した上で使用すること。
安全取扱い注意事項 (製品の使用上の注意)	製品の使用上の注意を読み、充分理解した上で使用すること。
保管	
適切な保管条件 (製品の保管上の注意)	製品の保管上の注意に記載。
安全な容器包装材料	製品容器

#### 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	特になし
許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)	
日本産業衛生学会	該当しない
ACGIH	エタノール: TLV-STEL 1000ppm
保護具	
呼吸器の保護具	マスク
手の保護具	ゴム手袋
目の保護具	保護メガネ
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護靴等

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	無色澄明液体
臭い	アルコール臭を有する
pH	3.14
引火点	24°C
比重(20°C)	0.934
溶解性	水溶性

## 10. 安定性及び反応性

安定性	自然条件化で安定
反応性	特になし
避けるべき条件	高温、高湿度、直射日光、火気
避けるべき物質	特になし
危険有害分解生成物	特になし

## 11. 有害性情報

急性経口毒性	経口 LD <sub>50</sub> ラット 約15,206mg/kg ※各成分の毒性データからの計算値
皮膚腐食性/刺激性	刺激性あり
眼腐食性/刺激性	刺激性あり

## 12. 環境影響情報

生態毒性	データなし
残留性/分解性	データなし
生体蓄積性	データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 製品の廃棄方法	製品の廃棄の方法に記載。 地域の分別区分に従って廃棄すること。
大量に廃棄する場合	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
IMO(国際海事機関)	クラス3(引火性液体)
ICAO(国際民間航空機関)	クラス3(引火性液体)
国連分類	クラス3(引火性液体)
国連番号	1993(引火性液体)
包装等級	III
国内規制	
陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	船舶安全法: 引火性液体類
航空規制情報	航空法: 引火性液体

### 一般的注意事項

適用される法に従った包装、表示、輸送を行うこと。

引火性液体を含有しているため、「火気厳禁」。

容器の破損、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み荷くずれ防止を確実にすること。

車両・船舶にはゴム手袋、マスク等の保護具を備える他、異常時の処置に必要な消火器、工具等を備えておくこと。

## 15. 適用法令

### 法令情報

労働安全衛生法

船舶安全法

航空法

エタノール:政令番号61号

引火性液体類

引火性液体

## 16. その他の情報

### 引用文献等

エタノール SDS

グレープフルーツ種子エキス SDS

緑茶抽出物 SDS

pH調整剤① SDS

pH調整剤② SDS

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものでもありません。また、注意事項は通常取扱を対象としたものです。この製品安全データシートは法令の改正、新しい知見にもとづいて改訂されることがあります。